#### 様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道34号 新日見トンネル	
事業主体	九州地方整備局	

#### ●事業採択の前提条件を確認するための指標

指 標		指標	指標チェックの根拠	
前提条件	事業の効率性		全事業:費用便益比(B/C)=1.4 (経済的純現在価値(B-C)=19億円、経済的内部収益率(EIRR)=6.4%) 残事業:費用便益比(B/C)=4.5 (経済的純現在価値(B-C)=53億円、経済的内部収益率(EIRR)=33%)	

#### ●事業の効果や必要性を評価するための指標

策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠	
円滑なモビリ ティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間的(当該区間/並行区間)について:国道34号(切通交差点~日見バイパス西口交差点) 当該区間等の損失時間 : 28.1万人・時間/年 当該区間等の損失削減率:約6割削減	
□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される			
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	当該区間を運行する長崎県営バス(10往復/日)	
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる		
□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる			
物流効率化の支援			
□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上			
	<ul><li>- 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</li></ul>		
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である		
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		
ロ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			
	□ 中心市街地内で行う事業である		
	円滑なモビリ ティの確保 物流効率化の支援	回ります。  □ 現道等の年間洗滞損失時間及び削減率  □ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる □ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくは1Sの規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する 都市の再生 □ 都市再生プロジェクトを支援する事業である □ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する □ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	

		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		口 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha 以上)への連絡道路となる	
1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけ有り	
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の 形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		□ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		□ 特別立法に基づく事業である	
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業 である	
2. 暮らし	歩行者・自転車 のための生活空 間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該 当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安 全性の向上が期待できる	
		□ 交通パリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化される	
	無電柱化による 美しい町並みの 形成	ロ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区 (歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区) の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心でき るくらしの確保		長崎市消防局中央消防署矢上出張所⇒長崎大学病院 [全事業・残事業]約5分短縮[整備前約43分⇒整備後約38分]:国道34号新日見トンネル
3. 安全	安全な生活環境 の確保	□ 規道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交 回 通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量 500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置 ■ づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	国道34号:緊急輸送道路ネットワーク計画において、第一次緊急輸送道路に位置づけられている
		□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (A'路線としての位置づけがある場合)	
		<ul><li>現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される。</li></ul>	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	動力象道路の整備により削減される自動車からのCO₂排出量	CO <sub>2</sub> 排出削減量:880 t -CO <sub>2</sub> /年 (全事業・残事業)
	生活環境の改 善・保全	● 現道等における自動車からのNO <sub>2</sub> 排出削減率	評価対象区間(現道等):国道34号(新日見トンネル) 排出削減量:2.9 t -Nox/年、排出削減率:約2割削減 (全事業・残事業)
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間(現道等):国道34号(新日見トンネル) 排出削減量:0.2 t -SPM/年、排出削減率:約2割削減 (全事業・残事業)
		$\ \square \ $ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
	他のプロジェクトと の関係	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

# 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その 他の別
一般国道34号	新日見トンネル	1.6km	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
41, 600	4	九州地方整備局

## ① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	2019年度(令和元年度)		
単純合計	43億円	13億円	56億円
うち残事業分	10億円	13億円	23億円
基準年における 現在価値(C)	44億円	5. 4億円	49億円
うち残事業分	9. 7億円	5. 4億円	15億円

## ② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	숨 計
基 準 年	2019年度(令和元年度)			
供用年	2021年度(令和3年度)			
単年便益 (初年便益)	2.9億円	0.55億円	0.26億円	3. 7億円
基準年における 現在価値(B)	53億円	10億円	4. 9億円	68億円
うち残事業分	53億円	10億円	4.9億円	68億円

### ③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 4
経済的純現在価値(事業全体)	19億円
経済的内部収益率(事業全体)	6. 4%
費用便益比(残事業)	4. 5
経済的純現在価値 (残事業)	53億円
経済的内部収益率 (残事業)	33%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## ④ 感度分析

## 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	41, 600	±10%	1.2 ~ 1.5
事業費	43億円	±10%	1.4 ~ 1.4
事業期間	5年	±20%	1.3 ~ 1.4

# 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	41, 600	±10%	4.0 ~ 5.0
事業費	10億円	±10%	4.2 ~ 4.8
事業期間	1年	±20%	4.4 ~ 4.5

### 交通状況の変化

様式-3①

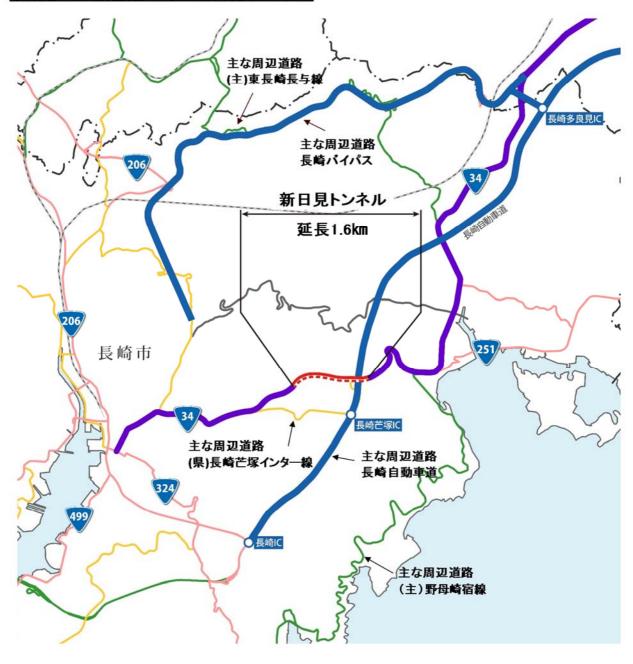
# 事業名:一般国道34号 新日見トンネル

(推計時点2030年 (R12年) (事業全体、残事業)

				整備なし(A)	整備あり(B)
	<b>小筏,</b> 耸 吸	交通量	[台/日]	33, 900	41, 600
: 1.6km		走行時間	[分]	5. 1	2.8
: 1.	. bkm	走行時間費用	[億円/年]	30.80	20. 40
	(県)長	交通量	[台/日]	4, 600	1, 300
	崎芒塚イ ンター線	走行時間	[分]	10	10
	: 3.6km	走行時間費用	[億円/年]	7. 84	2. 08
		交通量	[台/日]	19, 000	17, 600
	長崎自動車道	走行時間	[分]	7. 6	7. 6
	: 10.9km	走行時間費用	[億円/年]	26. 92	24. 96
	巨岐がく	交通量	[台/日]	22, 700	21, 900
②主な周 辺道路	長崎バイパス	走行時間	[分]	11	11
	: 12.8km	走行時間費用	[億円/年]	45. 08	43. 65
	( <u>-</u> ) = = =	交通量	[台/日]	8, 000	7, 400
	(主)野母 崎宿線 : 12.0km	走行時間	[分]	31	30
	: 12. UKIII	走行時間費用	[億円/年]	44. 87	39. 42
	(主) 市트	交通量	[台/日]	13, 100	12, 400
	(主)東長 崎長与線 : 7.9km	走行時間	[分]	20	20
	: /.9KM	走行時間費用	[億円/年]	48. 67	45. 75
③その他 : 258	道路合計 8.8km	走行時間費用	[億円/年]	5, 107. 52	5, 132. 66

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)		
合計: 2,637.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5, 311. 70	5, 308. 92	2. 78		

事業名:一般国道34号 新日見トンネル



# 費用便益分析の条件

## 事業名:一般国道34号 新日見トンネル

(2)

			項目		チェッ	ク欄	
		費用便益分析	fマニュアル				
	算出マニュアル交通流推計分析の基本 通計 の点 推計 の点 洗け の点 (CD) 交表者 通慮 量法推計 (CD) 交表者 交計 受許 で表別表 通過変表 通過法のの のの ののののののののののののののののののののののののののののののの	(平成30年2	月 国土交通省 道路局 都市局)				
		その他				]	
		分析対象期間	引		50年	 F間	
1	分析の基本的事項	社会的割引率	<u>x</u>		49	%	
		基準年次		2019年度(R元年度)			
	交通流の	1時点のみ推	計		<b>■</b> (F	R12)	
	推計時点	複数時点での	)推計			]	
_		整備の有無る	れぞれで交通流を推計		ı		
	作品の生活	整備の有無の	いずれかのみ推計		□有	口無	
	在 日 の 1人 が	いずれかのみの 推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載				
		道路交通セン	ナスをベースとした自動車OD表				
通 流 推	₩₩₩	(三段階推定		(H22センサス)			
		パーソントリッ					
	004	(四段階推定		_			
		その他(	)				
		無					
	明念女は目の	有					
		±018	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載		( )台	トリップ/日	
		有の場合のみ	方.思した。垤田で記載				
		QーV式を用し					
		転換率式を用	いた配分				
		QーV式と転打	奥率式の併用による配分				
		均衡配分(リン	ノクパフォーマンス関数を用いた配分)			]	
		簡易手法					
		簡易手法の	小規模事業である			]	
	推訂于法 	採択理由	山間部海岸部で併行道路が少ない			]	
			その他(	)			
		簡易手法の考え	方(将来交通量の設定方法等)				
		その他(	)				
		· · · · ·	8了時の速度を交通量でウェイト付け	/	_		
		して設定					
			交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路	線、交通容量程度	 度の路線など	 が混在した	
	速度設定の		配分結果となっているため、費用便益算出におい を用いた。	いては、速度差の	か生ずる「加重	<u>[</u> 平均速度」	
		旦約部八の当					
		最終配分の選 採用理由を記載	<u> </u>				
通 流 推							
		その他(		)		 ]	

### 事業名:一般国道34号 新日見トンネル

(3)

			項目	チェック欄					
		考慮しない							
		考慮する							
	4 ロナマ 6		面的に考慮						
	休日交通の 影響		対象路線のみ考慮						
	<b>於</b> 首	考慮する 場合のみ	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記	( )%					
		考慮しない							
		考慮する							
	   災害等による   通行止めの		採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日					
	影響	考慮する 場合のみ	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその	の考え方を記載					
		<b>土声」かい</b>							
		考慮しない 考慮する							
	   冬期交通の	方思りる	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日					
便益の	影響	考慮する 場合のみ	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載						
算定				T					
	交通流推計の	ブロック別・車							
	時点以外の 便益の算定	その他							
			fマニュアルの値を使用						
	車種別時間 価値原単位	独自に設定し							
		費用便益分析							
	   車種別走行	独自に設定し							
	経費原単位								
	交通事故減少	中央分離帯の							
	便益算定	中央分離帯の							
		考慮しない		•					
	走行時間短縮・走行 経費減少・交通事故 減少以外の便益	<b>学</b> 虚士 Z							
	その他								

## 事業名:一般国道34号 新日見トンネル

(4	)							
			項目	チェック欄				
		詳細事業計画						
	事業費	標準投資パタ						
		その他(概略	S事業計画による値を採用 )					
	644 1 1 445 - FR - HD	維持管理費の設定	定根拠を記載					
	維持管理費	当該道路周辺地域	域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費(過去3年間	:H28~H30)に基づく				
弗	雪寒費	積雪地域また	は寒冷地域である					
費用		考慮しない						
の		考慮する						
算	当該道路整備が		事業費を考慮					
定	行われない場合	***	維持管理費を考慮					
	の費用	考慮する 場合のみ	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)					
		201000						
	その他							
4 .	その他							

延長(km) 単純価値(億円)

### 費用の現在価値算定表

箇所名:一般国道34号 新日見トンネル(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)

	H	<u> </u>	<del>延長(KIII)</del> 1.6	<u> 単純価値(場円)</u> 0.29			
	割戻率	GDP	事業費		維持管理費(億円)		
年次	年度	司庆平	デブレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-5年目	<u> </u>	1.1249	102.8	<u> </u>	0.52	平心Ш但	<b>死江</b> Ш但
	H 29	1.0816	102.8	3.70	4.01		
-3年目	H 30				14.73		
-3年日 -2年目		1.0400	103.0	14.17	14.73		
	R 1	1.0000	103.0	14.64			
一1年目	R 2	0.9615	103.0	10.09	9.70	0.00	0.04
供用開始年次		0.9246	103.0			0.26	0.24
1年目	R 4	0.8890	103.0			0.26	0.23
2年目	R 5		103.0			0.26	0.23
3年目	R 6		103.0			0.26	0.22
4年目	R 7	0.7903	103.0			0.26	0.21
5年目	R 8	0.7599	103.0			0.26	0.20
6年目	R 9	0.7307	103.0			0.26	0.19
7年目	R 10		103.0			0.26	0.19
8年目	R 11	0.6756	103.0			0.26	0.18
9年目	R 12	0.6496	103.0			0.26	0.17
10年目	R 13	0.6246	103.0			0.26	0.16
11年目	R 14	0.6006	103.0			0.26	0.16
12年目	R 15	0.5775	103.0			0.26	0.15
13年目	R 16	0.5553	103.0			0.26	0.15
14年目	R 17	0.5339	103.0			0.26	0.14
15年目	R 18	0.5134	103.0			0.26	0.14
16年目	R 19	0.4936	103.0			0.26	0.13
17年目	R 20	0.4746	103.0			0.26	0.13
18年目	R 21	0.4564	103.0			0.26	0.12
19年目	R 22	0.4388	103.0			0.26	0.12
20年目	R 23	0.4220	103.0			0.26	0.11
21年目	R 24	0.4057	103.0			0.26	0.11
22年目	R 25	0.3901	103.0			0.26	0.10
23年目	R 26	0.3751	103.0			0.26	0.10
24年目	R 27	0.3607	103.0			0.26	0.10
25年目	R 28	0.3468	103.0			0.26	0.09
26年目	R 29	0.3335	103.0			0.26	0.09
27年目	R 30	0.3207	103.0			0.26	0.08
28年目	R 31	0.3083	103.0			0.26	0.08
29年目	R 32	0.2965	103.0			0.26	0.08
30年目	R 33	0.2851	103.0			0.26	0.08
31年目	R 34	0.2741	103.0			0.26	0.07
32年目	R 35	0.2636	103.0			0.26	0.07
33年目	R 36	0.2534	103.0			0.26	0.07
34年目	R 37	0.2437	103.0			0.26	0.06
35年目	R 38		103.0			0.26	0.06
36年目	R 39	0.2253	103.0			0.26	0.06
37年目	R 40	0.2166	103.0			0.26	0.06
38年目	R 41	0.2183	103.0			0.26	0.00
39年目	R 42	0.2003	103.0			0.26	0.05
40年目	R 43	0.1926	103.0			0.26	0.05
40年日 41年日	R 44	0.1926	103.0			0.26	0.05
	R 45		103.0				
42年目		0.1780				0.26	0.05
43年目	R 46	0.1712	103.0			0.26	0.05
44年目	R 47	0.1646	103.0			0.26	0.04
45年目	R 48	0.1583	103.0			0.26	0.04
46年目	R 49	0.1522	103.0			0.26	0.04
47年目	R 50	0.1463	103.0			0.26	0.04
48年目	R 51	0.1407	103.0			0.26	0.04
49年目	R 52	0.1353	103.0			0.26	0.04
合 計				43.06	43.60	13.18	5.45
単純事業費計				43.06		13.18	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

### 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

	<b></b>	維持官埋貨の単純	世間の昇山(月貝	7,0111111111111111111111111111111111111			
所名:一般国道34号	新日見り		単価(億円)	延長(km)	単純価値(億F		
		<b>*</b> 1=**	去米串	0.18	1.6	世 (ACID)	
<i>F</i> > <i>F</i>		割戻率	GDP	事業費		維持管理	
<u> </u>	年度	0.0045	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
	R 2	0.9615	103.0	10.09	9.70		
供用開始年次	R 3	0.9246	103.0			0.26	0.2
1年目	R 4	0.8890	103.0			0.26	0.2
2年目	R 5	0.8548	103.0			0.26	
3年目	R 6	0.8219	103.0			0.26	
4年目	R 7	0.7903	103.0			0.26	
5年目	R 8	0.7599	103.0			0.26	
6年目	R 9	0.7307	103.0			0.26	
7年目	R 10	0.7026	103.0			0.26	
8年目	R 11	0.6756	103.0			0.26	
9年目	R 12	0.6496	103.0			0.26	
10年目	R 13	0.6246	103.0			0.26	
11年目	R 14	0.6006	103.0			0.26	
12年目	R 15	0.5775	103.0			0.26	
13年目	R 16	0.5553	103.0			0.26	
14年目	R 17	0.5339	103.0			0.26	
15年目	R 18	0.5134	103.0			0.26	
16年目	R 19	0.4936	103.0			0.26	0.
17年目	R 20	0.4746	103.0			0.26	0.
18年目	R 21	0.4564	103.0			0.26	0.
19年目	R 22	0.4388	103.0			0.26	0.
20年目	R 23	0.4220	103.0			0.26	0.
21年目	R 24	0.4057	103.0			0.26	0.
22年目	R 25	0.3901	103.0			0.26	0.
23年目	R 26	0.3751	103.0			0.26	0.
24年目	R 27	0.3607	103.0			0.26	0.
25年目	R 28	0.3468	103.0			0.26	0.
26年目	R 29	0.3335	103.0			0.26	0.
27年目	R 30	0.3207	103.0			0.26	0.
28年目	R 31	0.3083	103.0			0.26	0.
29年目	R 32	0.2965	103.0			0.26	0.
30年目	R 33	0.2851	103.0			0.26	0.
31年目	R 34	0.2741	103.0			0.26	0.
32年目	R 35	0.2636	103.0			0.26	
33年目	R 36	0.2534	103.0			0.26	
34年目	R 37	0.2437	103.0			0.26	
35年目	R 38	0.2343	103.0			0.26	0.
36年目	R 39	0.2253	103.0			0.26	
37年目	R 40		103.0			0.26	
38年目	R 41	0.2083	103.0			0.26	
39年目	R 42	0.2003	103.0			0.26	
40年目	R 43	0.1926	103.0			0.26	
41年目	R 44	0.1852	103.0			0.26	
42年目	R 45	0.1780	103.0			0.26	0.
43年目	R 46	0.1712	103.0			0.26	
44年目	R 47	0.1646	103.0			0.26	
	R 48	0.1583	103.0			0.26	0.
46年目	R 49	0.1522	103.0			0.26	
47年目	R 50	0.1322	103.0			0.26	
47年日 48年目	R 51	0.1407	103.0			0.26	
	R 52	0.1407	103.0			0.26	
	jn bZ	0.1303	103.0	10.09	9.70	13.18	
				10.09	y.70	13.10	<u></u> 5.
純事業費計				10.09		13.18	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を 踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

#### 便益の現在価値算定表

箇所名:一般国道34号 新日見トンネル(事業全体・残事業)

<b>  大皿の現在側距昇足及</b>							固川石 : 水		,	7(爭未主件											
	年度						GDP								ĺ		合	計			
	(基準年)					割戻率	テ゛フレータ		走行時間短網	智便益(億円)				走行経費減少	り (億円)			事故減少便:	益(億円)		(億円)
	2019	2019 (北九州プロック)										現在価値					現在価値		現在価値	便益合計	現在価値
年次	(R1)	乗用車類		普通貨物	全 車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	<ul><li>② 計</li></ul>	(A) × (2)	(3)	③×(A)	(1)~(3))	割引率4%
供用開始年次	D 2	0.99863	0.98636	1.00489	0.99732	0.9246	103.0	1.88	0.73	0.27	2.88	2.66	0.28	0.19		0.55	0.51	0.26	0.24	3.68	
1年目	R 4					0.8890	103.0	1.88	0.73	0.27	2.86	2.55	0.28	0.19	0.08	0.54	0.48	0.26	0.24	3.67	3.41
		0.99863	0.98617	1.00486	0.99731													_		_	
2年目	R 5	0.99863	0.98597	1.00484	0.99731	0.8548	103.0	1.88	0.71	0.27	2.85	2.44	0.27	0.19	0.08	0.54	0.46	0.26	0.22	3.65	
3年目	R 6	0.99862	0.98577	1.00482	0.99730	0.8219	103.0	1.87	0.70	0.27	2.84	2.34	0.27	0.18	0.08	0.54	0.44	0.26	0.21	3.64	
4年目	R 7	0.99862	0.98557	1.00479	0.99729	0.7903	103.0	1.87	0.69	0.27	2.83	2.24	0.27	0.18	0.08	0.54	0.42	0.26	0.20	3.62	2.86
5年目	R 8	0.99862	0.98536	1.00477	0.99728	0.7599	103.0	1.87	0.68	0.27	2.82	2.14	0.27	0.18	0.08	0.53	0.41	0.26	0.20	3.61	2.74
6年目	R 9	0.99862	0.98514	1.00475	0.99728	0.7307	103.0	1.87	0.67	0.27	2.81	2.05	0.27	0.18	0.08	0.53	0.39	0.26	0.19	3.60	2.63
7年目	R 10	0.99862	0.98491	1.00473	0.99727	0.7026	103.0	1.86	0.66	0.27	2.80	1.97	0.27	0.17	0.08	0.53	0.37	0.26	0.18	3.58	
8年目	R 11	0.99861	0.98468	1.00470	0.99726	0.6756	103.0	1.86	0.65	0.28	2.79	1.88	0.27	0.17	0.08	0.53	0.36	0.25	0.17	3.57	
9年目	R 12	0.99165	0.99085	0.99720	0.99229	0.6496	103.0	1.86	0.64	0.28	2.78	1.80	0.27	0.17		0.52	0.34	0.25	0.17	3.55	
10年目	R 13	0.99158	0.99076	0.99720	0.99223	0.6246	103.0	1.84	0.63	0.28	2.75	1.72	0.27	0.17		0.52	0.32	0.25	0.16	3.52	
11年目	R 14	0.99151	0.99067	0.99719	0.99217	0.6006	103.0	1.83	0.63	0.28	2.73	1.64	0.27	0.16	0.08	0.52	0.31	0.25	0.15	3.50	
12年目	R 15	0.99144	0.99059	0.99718	0.99210	0.5775	103.0	1.81	0.62	0.28	2.71	1.56	0.27	0.16	0.08	0.51	0.30	0.25	0.14	3.47	
13年目	R 16	0.99136	0.99050	0.99717	0.99204	0.5553	103.0	1.80	0.61	0.27	2.69	1.49	0.26	0.16	0.08	0.51	0.28	0.25	0.14	3.44	1.91
14年目	R 17	0.99129	0.99041	0.99717	0.99198	0.5339	103.0	1.78	0.61	0.27	2.66	1.42	0.26	0.16	0.08	0.50	0.27	0.24	0.13	3.41	1.82
15年目	R 18	0.99121	0.99031	0.99716	0.99191	0.5134	103.0	1.77	0.60	0.27	2.64	1.36	0.26	0.16	0.08	0.50	0.26	0.24	0.12	3.38	1.74
16年目	R 19	0.99113	0.99022	0.99715	0.99185	0.4936	103.0	1.75	0.60	0.27	2.62	1.29	0.26	0.16		0.49	0.24	0.24	0.12	3.36	
17年目	R 20					0.4746	103.0	1.74	0.59	0.27	2.60	1.23	0.25	0.16		0.49	0.23	0.24	0.12	3.33	
		0.99105	0.99012	0.99714	0.99178															_	
18年目	R 21	0.99097	0.99002	0.99713	0.99171	0.4564	103.0	1.72	0.59	0.27	2.58	1.18	0.25	0.15	0.08	0.49	0.22	0.24	0.11	3.30	
19年目	R 22	0.99089	0.98992	0.99712	0.99164	0.4388	103.0	1.70	0.58	0.27	2.55	1.12	0.25	0.15		0.48	0.21	0.23	0.10	3.27	
20年目	R 23	0.99081	0.98982	0.99712	0.99157	0.4220	103.0	1.69	0.57	0.27	2.53	1.07	0.25	0.15		0.48	0.20	0.23	0.10	3.24	
21年目	R 24	0.99072	0.98972	0.99711	0.99150	0.4057	103.0	1.67	0.57	0.27	2.51	1.02	0.24	0.15	0.08	0.47	0.19	0.23	0.09	3.21	1.30
22年目	R 25	0.99064	0.98961	0.99710	0.99143	0.3901	103.0	1.66	0.56	0.27	2.49	0.97	0.24	0.15	0.08	0.47	0.18	0.23	0.09	3.19	1.24
23年目	R 26	0.99055	0.98950	0.99709	0.99135	0.3751	103.0	1.64	0.56	0.27	2.47	0.92	0.24	0.15	0.08	0.47	0.18	0.23	0.09	3.16	1.18
24年目	R 27	0.99046	0.98939	0.99708	0.99128	0.3607	103.0	1.63	0.55	0.27	2.44	0.88	0.24	0.14	0.08	0.46	0.17	0.22	0.08	3.13	1.13
25年目	R 28	0.99036	0.98927	0.99707	0.99120	0.3468	103.0	1.61	0.54	0.27	2.42	0.84	0.24	0.14		0.46	0.16	0.22	0.08	3.10	
26年目	R 29							1.60	0.54	0.27	2.42	0.80	0.24	0.14		0.46	0.16	0.22	0.08	3.10	
		0.99027	0.98916	0.99707	0.99112	0.3335	103.0								0.08						
27年目	R 30	0.99018	0.98904	0.99706	0.99104	0.3207	103.0	1.58	0.53	0.26	2.38	0.76	0.23	0.14	0.08	0.45	0.14	0.22	0.07	3.05	
28年目	R 31	0.99008	0.98892	0.99705	0.99096	0.3083	103.0	1.56	0.53	0.26	2.35	0.73	0.23	0.14		0.45	0.14	0.22	0.07	3.02	
29年目	R 32	0.98998	0.98879	0.99704	0.99088	0.2965	103.0	1.55	0.52	0.26	2.33	0.69	0.23	0.14	0.08	0.44	0.13	0.21	0.06	2.99	0.89
30年目	R 33	0.98988	0.98867	0.99703	0.99080	0.2851	103.0	1.53	0.52	0.26	2.31	0.66	0.22	0.14	0.08	0.44	0.12	0.21	0.06	2.96	0.84
31年目	R 34	0.98977	0.98854	0.99702	0.99071	0.2741	103.0	1.52	0.51	0.26	2.29	0.63	0.22	0.13	0.08	0.43	0.12	0.21	0.06	2.93	0.80
32年月	R 35	0.98967	0.98840	0.99701	0.99062	0.2636	103.0	1.50	0.50	0.26	2.27	0.60	0.22	0.13	0.08	0.43	0.11	0.21	0.06	2.91	0.77
33年目	R 36	0.98956	0.98827	0.99700	0.99053	0.2534	103.0	1.49	0.50	0.26	2.24	0.57	0.22	0.13	0.08	0.43	0.11	0.21	0.05	2.88	
34年目	R 37	0.98945	0.98813	0.99699	0.99044	0.2437	103.0	1.43	0.49	0.26	2.24	0.57	0.22	0.13	0.08	0.43	0.11	0.21	0.05	2.85	
									0.49			0.54	0.22	0.13		0.42		0.21		_	
35年目		0.98934	0.98799	0.99699	0.99035	0.2343	103.0	1.46		0.26	2.20				0.08		0.10		0.05	2.82	
36年目	R 39	0.98922	0.98784	0.99698	0.99026	0.2253	103.0	1.44	0.48	0.26	2.18	0.49	0.21	0.13	0.08	0.41	0.09	0.20	0.05	2.79	
37年目	R 40	0.98911	0.98769	0.99697	0.99016	0.2166	103.0	1.42	0.47	0.26	2.16	0.47	0.21	0.12	0.08	0.41	0.09	0.20	0.04	2.76	
38年目	R 41	0.98899	0.98754	0.99696	0.99006	0.2083	103.0	1.41	0.47	0.26	2.13	0.44	0.21	0.12	0.08	0.41	0.08	0.20	0.04	2.74	
39年目	R 42	0.98886	0.98738	0.99695	0.98996	0.2003	103.0	1.39	0.46	0.25	2.11	0.42	0.20	0.12	0.08	0.40	0.08	0.20	0.04	2.71	0.54
40年目	R 43	0.98874	0.98722	0.99694	0.98986	0.1926	103.0	1.38	0.46	0.25	2.09	0.40	0.20	0.12	0.08	0.40	0.08	0.19	0.04	2.68	0.52
41年目	R 44	0.98861	0.98705	0.99693	0.98976	0.1852	103.0	1.36	0.45	0.25	2.07	0.38	0.20	0.12	0.08	0.39	0.07	0.19	0.04	2.65	
42年月	R 45	0.98848	0.98688	0.99692	0.98965	0.1780	103.0	1.35	0.45	0.25	2.04	0.36	0.20	0.12	0.08	0.39	0.07	0.19	0.03	2.62	
43年目	R 46	0.98834	0.98671	0.99691	0.98954	0.1712	103.0	1.33	0.43	0.25	2.04	0.35	0.19	0.12	0.08	0.39	0.07	0.19	0.03	2.60	
43年日							103.0		0.44		2.02	0.33	0.19	0.12		0.39	0.07		0.03	2.50	
	R 47	0.98821	0.98653	0.99690	0.98943	0.1646		1.32		0.25											
45年目	R 48	0.98807	0.98634	0.99689	0.98932	0.1583	103.0	1.30	0.43	0.25	1.98	0.31	0.19	0.11	0.08	0.38	0.06	0.18	0.03	2.54	
46年目	R 49	0.98792	0.98616	0.99688	0.98921	0.1522	103.0	1.28	0.42	0.25	1.96	0.30	0.19	0.11	0.08	0.37	0.06	0.18	0.03	2.51	
47年目	R 50	0.98777	0.98596	0.99687	0.98909	0.1463	103.0	1.27	0.42	0.25	1.93	0.28	0.19	0.11	0.07	0.37	0.05	0.18	0.03	2.48	0.36
48年目	R 51	0.98762	0.98576	0.99686	0.98897	0.1407	103.0	1.25	0.41	0.25	1.91	0.27	0.18	0.11	0.07	0.37	0.05	0.18	0.02	2.45	0.35
49年目	R 52	0.98747	0.98556	0.99685	0.98884	0.1353	103.0	1.24	0.40	0.25	1.89	0.26	0.18	0.11	0.07	0.36	0.05	0.18	0.02	2.43	0.33
수 計	JE	1.1.07.17						80.35	27.57	13.18	121.10		11.76	7.23		22.97	10.10		4.88	155.20	
H H1								00.00	21.07	10.10	121.10	. 00.04	11./0	7.20	0.00	LL.U1	10.10	11.13	T.00	100.20	00.00